

西南学院大学

図書館報

第21号

昭和38年1月18日発行

発行所 福岡市西新町798 電0031

西南学院大学図書館

発行人 山下和夫

大学図書館における 開架制度について

— 福岡県大学図書館協議会における研究から —

山下和夫

さる6月6日から6回にわたって、本館で実施された福岡県大学図書館協議会の研究会は、その研究テーマが「大学図書館における開架式閲覧制度について」の研究であったために、本館の採用している開架制度に関する絶好の検討・反省の機会となったことは、私共にとって思いがけない収穫であり、感謝であった。そこで、その研究報告の中から参考となった若干の事項をとりあげて、ここで述べてみることにしたい。

まず注目されることは、研究会の最初に報告されたことであるが、九州大学附属図書館が昭和37年4月から、同教養部分館が同じ年の10月からそれぞれ一部開架の採用にふみきったことである。これまで国立大学では、物品管理法による規制のために、紛失事故を伴ない易い開架制度の実施は極めて困難であると一般には考えられてきたのであり、それをのりこえて開架制度を採用されたことは、極めて意義深い。私は、このことの中に、保存書庫的な図書館から利用本位の図書館へと脱皮してゆきつつある趨勢の中で、各地方の大学の中心的存在としての国立大学が、結局は利用本位へと踏みきらざるを得なかった一面を見ることができると思う。さらに、九州大学の附属図書館で引き続いて実施されている書庫全部の開放については、その積極的な意図もさることながら、保存書庫的な施設と制約の中で、開架制度に関する諸問題をどのように解決してゆかれるか、興味深いものがある。

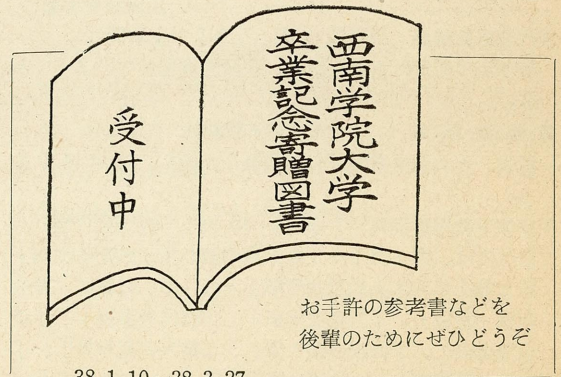
次に、開架制度で最も問題となるのは紛失などの事故の発生であり、従って研究会においてもその防止対策が論議の中心となったことは当然であった。その一連の防止対策の中でもとくに強調されたものは、開架室利用方法のPR徹底と、開架に適応した施設・書架配置・人員配置の採用である。図書の利用・検索について画期的な便宜を与えるものが開架制度であるならば、その趣旨に沿って適切な利用方法が充分PRされねばならぬのはいうまでもないことである。本館では、新入学生に対するカラスライドによる利用案内、図書館報の刊行、増加図書目録の配布などできるだけ努力を行なってPRに資しているつもりであるが、なお一層この方面に留意してゆくことにしたい。と

ところで、後者の施設・書架配置・人員配置については案外それが事故発生の原因として重要なことが看過されているようである。その図書館の実施しようとする開架制度の目的と程度に最も相応した施設が与えられ、書架の配置がなされ、十分な人員が確保されねばならない。これのどこかに欠陥があると、事故を誘発することになる。このことは、昭和35年4月以来本館で実施された事故防止対策が相当功を奏したことによっても明らかである。

即ち、事故防止はなかなか効果をあげるのが困難だとされているにもかかわらず、本館では図書館の一部を改造して徹底的な防止対策を講じた結果、事故を僅少に抑えることができたのである。この事実からしても、施設などの適切さが事故発生といかに関連が深いかを知ることができると思う。

本館が開架制度を採用したのは、昭和29年10月からであるから、早くもかれこれ8年余を経過した。採用当初は、大学ではかなり珍らしくもあつたし、若干もてはやされ気味だったともいえようが、現在は、開架制度を採用する大学図書館が次第に増えてきて、一部開架はむしろ常識とさえなりつつある。このことは、私共にとって一面心強いものがあると共に、開架の表看板だけではもはや通用しなくなったことを警告されているとも考えるのである。

(本館司書長)



哲 学

現代哲学辞典 三木清 日本評論社
大項目中に関係項目を含めて解説、終りに事項索引と人名索引がある。

岩波哲学小辞典 伊藤吉之助 岩波書店
哲学・倫理・心理を中心に、日本式ローマ字によるABC順で、各項目は日本語のほか英・仏・独語を付記し、多くの参照もある。巻末に人名・書誌・索引等を完備している。

世界思想辞典 高島善哉等 河出書房
有名な思想家とその著作の主なものを選び、著者不明の古典は著書だけをのせてある。

哲学年表 速水敬二 岩波書店

思想史研究のために、哲学者伝・哲学書・西洋文化史・日本文化史を表にしてあり、年次は西歴と皇紀がついている。

付表として、「学派系統別哲学者在世年表」および一般索引、哲学者索引がある。

哲学の名著 (毎日ライブラリー)

久野収 毎日新聞社
西洋哲学を、古代・中世・近世・現代に分け、重点を近世、とくに現代においてあり、末尾に用語解説と人名及び各項目索引がある。

心 理

現代心理学ハンドブック 世良正利等 学芸書房
心理学の説明だけでなく、経済や経営についても多くの紙数をかけ、大体一項目10頁内外の入門的概論書である。

倫 理

新倫理辞典 大島康正 創文社
古代から現代に至り、有名な思想家、関係項目等が含まれており各項目には原綴を付記してある。

宗 教

現代基督教辞典 浅野順一等 キリスト新聞社
神学及び聖書に重点を置き、宗派的偏見がないようである。

基督教年鑑 キリスト新聞社
教会、その他事業団体の現勢等を記録し、隔年刊である。

キリスト教用語辞典 小林珍雄 東京堂
目次には、第1部「キリスト教用語」「イスラム用語」第2部「キリスト教用語略解」となって、付表に「教会組織一覧表」、「教会史年表」、「歴代教皇表」、「教会博士表」、「保護の聖人表」、「聖人の表号表」、「聖職者敬称表」、「修道会等略称表」、「洗礼名表」、

日華対照公教用語」、「キリシタン用語」がのせてある。

旧約・新約聖書語句大辞典 日本基督教協議会 教文館
聖書本文は新約は日本聖書協会の1955年版、旧約は1938年版を使用し、収録語句は約20万である。

新仏教辞典 石田瑞麿等 誠信書房
仏教関係の項目以外に、インドの宗教・思想・仏教復興運動等にわたり、付録に「日本仏教宗派一覧」、「索引(漢字索引・欧文索引)」、「仏教略年表」、「仏教地図」がのせてある。
そのほかキリスト教関係の洋書の辞書類の中には次のようなものもある。

A Dictionary of the Bible, ed. by Hastings. (Clark)
A Dictionary of Life in Bible Times, by W. Corswant. (Hodder & Stoughton)
Halley's Bible Handbook. (Zondervan)
Analytical Concordance to the Bible, by R. Young. (Funk & Wagnalls)

図書館活用のための

その2

辞書・事典の豆知識

哲 学 ・ 宗 教 ・ 歴 史

歴史(一般)

アジア歴史辞典 全10巻 平凡社
これまで比重のうすかった東南アジア・西アジアの充実
に意を用い、末巻が索引である。

日本歴史大辞典 全22巻 河出書房新社
人名については現存者は省略してあり、外国人名でも日本に関連あるものは収めてある。
末巻は索引になっている。

西洋史辞典 京都大学文学部 創元社
項目約5千、第2次大戦終結までの辞典で、付録に、人名・地名対称表、各国首長表、主要国首相表、主要家系図、文字の起原、主要大学設立年代表、略年表、近代科学・技術史重要年代表、主要国行政区劃図、地図がある。

世界歴史事典 全25巻 平凡社
第1-20巻本文、第21巻索引、第22巻史料編-日本、第23巻史料編-東洋、第24・25巻史料編-西洋となっている。

世界史大年表 上・下巻、京都大学文学部 目黒書店
上巻はBC5000年-1788年、下巻は1789年-1940年を収録し、最も詳細な年表である。

図解考古学辞典 水野清一、小林行雄 創元社
日本の考古学辞典であるが、必要な限り中国、朝鮮にも及んでいる。

(次頁左中段に続く)

随筆

ぼく、は本である

佐渡谷 重信

ぼくは一冊の本である。ぼくがこの世に生れてくるのに、二つのタイプがある。一つは、流行作家がよくやっている「口述原稿」を作家の秘書が原稿用紙に書くか、作家がテープレコーダーに吹き込んだのを、あとから書く、という大量生産によるもの。二つは著者自身による生原稿。一般にぼくの仲間は後者の方が多いのであるが、「カップ・ボックス」のような連中は著者の生原稿を出版社で、ベストセラー向きに書き換えるので、異端者扱いにされている。

この世の中で、相当知名な人間でなければ、出版社は、ぼくをこの世界に生んでくれない。多くの仲間なかで、雑誌に連載されたものが、読者から好評を博した場合、ぼくは光栄ある男の中の男として生れてくる。

さて、雑誌に連載されるとき、筆者はぼくの魂を幾度となく磨いてくれる。つまり出来上がった原稿を筆者は3回も4回も読み返す。出来上がった原稿を雑誌社に送る。その雑誌の編集部からゲラ刷が送り返えされる。筆者は再び校正し、雑誌社へ送る。雑誌が出来る。筆者はここでもう一度読む。考えてみると、通算、筆者は同じ原稿を6回も7回も読んでることになる。いよいよ、連載が終ると、筆者はいままで書いた原稿を更に、もう一度、たんに読み返し、加筆訂正を行い、出版社に渡す。出版社はぼくを生み出すための体裁や割付を行い、そのゲラ刷を著者(も

う筆者ではない)という名の「オヤジ」に送り、「オヤジ」はもう2回ほど校正する。つまり、著者である「オヤジ」は9回から10回もぼくの外見から肉体や白骨、更に目に見えぬ魂の中まで磨きだて、一つの誤植もないように仕上げてくれる。これが終ると、出版社である「オフクロク」は2回か3回、更に綿密に精読し、可愛がり、やがて、ぼくは誕生する。ぼくは読者に売られ、書店で陽の目を見るのに早くて三か月かかる。しかし、これは、すべて原稿が出来上ってからのことであり、「オヤジ」の全精力は数年間の歳月を費しているから、人間の九か月に比べれば、ぼくの方が大変だ。しかし、人間は一人しか生れないのに、普通同名のぼくは初め三千も生れる。ペーパー・ボックスの仲間は五千から八千。マス・コミに乗って行くと、チリ紙のように生れ、そしてゴミ箱に捨てられる。ぼくらの仲間はペーパー・ボックスを軽蔑している。ウツイタ連中が多いからである。ぼくは精神と肉体の結晶。多くの人間に知識と生活の糧を与える「文明の精」。だから、沢山の人間に読んでもらいたいといつも考える。そして、図書館に買われてゆくとき、ぼくは誇りげな気持ちになる。

ぼくは西南学院大学にも買われてきた。ぼくは美男子だと思う。それなのに、学生はぼくの顔に手アカをつける。ある冷酷なる学生はぼくの心の中に赤エンピツでシミをつけ、あるいは切りさいて、ぼくを片輪にしてゆく。交通事故より残酷だ。

ところが、もっと淋しい仲間もいる。英語で書かれた仲間は、学生から見向きもされず退屈な日々を過している。書架は暗くて陰気だ。学生の手の中にゆられてみたい。太陽の光を浴びてみたい。学生の諸君とニラメッコしてみたい、と待ちわびている。

(本学文学部講師)

(前頁の続き)

地 理

大日本分県地図 併地名総覧 国際分県地図株式会社
標準世界地図 全国教育図書

日本地名事典 全4巻 朝倉書店

巻別内容は、1—総説と東北日本(北海道・東北・関東)、2—中央日本(中部・近畿)、3—西南日本(中国・四国・九州)と地名索引、4—総索引となっている。

世界地名事典 全6巻 平凡社

第1—5巻は本文で、第6巻が詳しい世界地図帳と総索引で、地名だけでなく、歴史にもふれ、また地理学・地質学上の特質も述べてある。

外国出版の地図類では最も定評があるものにTimes社から出されている

The Times Atlas of the World. Vol. 1-5.

があるがその他

Encyclopedia Britannica World Atlas.

Collier's World Atlas and Gazetteer.

などもあるのでご利用されたい。

告 知 板

○試験期の開館時間延長など

来たる1月21日(月)から後期試験終了前日まで、夜間を延長して午後9時まで開館します。なお、1月25日(金)から貸出冊数を1冊に制限しますからご承知下さい。

○春休長期貸出

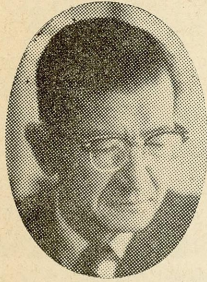
2月11日(月)から春休の長期貸出をします。期限は4月17日(水)まで、冊数2冊以内です。なお、本年3月の卒業予定者については、3月9日(土)が返却期限となります。

○春休期間中は土曜日だけ午後7時まで、あとは午後5時までです。

3月下旬に在庫調査のため、約10日間閉館の予定です。

新制大学発足期の図書館

中澤慶之助



私の図書館長時代、それはもう大分古い、一つの歴史的なものとなりました。

経済、商業、法律等、いわゆる社会科学に関する外国専門書が六百冊余りしかなく、私一人のそれと差がなく、文部省派遣の審査委員からも「これでは新制大学としての資格がない」と厳しい評価。理事会も直ちに五千弗の臨時予算を組んで下さり、直ちに経済、商業の原書購入に着手したのです。

例の五千弗基金の端緒がここから始まったのです。

歴代の図書館長が述べているように、当時の図書館は今の中学校正門と道を隔てて建っている赤煉瓦建築と木造の閲覧室で、今ではまるで倉庫としか見えませんが、当時はこれが大学、高校、中学兼用の大図書館であったのです。

そこで全館員の毎日正午の祈禱会が開始され、日々の靈的修行にもなったが、主たる目標は、「一日も早く新図書館が与えられますように」であったのです。そしてこの祈禱会の日記は二百数十回に亘って記録されました。今日の館長さんや館員さん達は、こんな話をしても、前世紀の出来ごとぐらいにしか考えず、恐らくお信じに出来ないでしょうが、天理大では信徒の勤勞奉仕(日の寄進)によって堂々たる近代的ライブラリーが竣工した時でもあり、書庫の一角の埃りっぱい館長デスクを囲んでの祈禱会にはしんけんなものがありました。

さて新制大学図書館の面目とも言うべきものとして、当時の木村司書、杉本書記らによって、新しい分類法「日本十進分類法」が採用された英断は特記すべきでしょう。

次に「読書週間」というものが生れ、図書館でもニュー・アイデアとして、学生から読書週間標語を懸賞募集し、応募者も予想外に多く、入賞標語を館員沢田夫人の達筆で書いて貰い、幾種類かの石版刷をつくって、館内や研究所内等に貼って、秋の読書ムードを盛りあげたことなど、なつかしい思い出の一つであります。

また図書と結核の問題についても、議論はされていたが、まだ新薬輸入後の日も浅く、思い切って、何十年の書籍菌撲滅のため全館を密閉してホルマリン瓦斯消毒を執行し、セイセイしたのも、この頃は行ないがたいとかで一入佳い思い出です。

さらに、女子館員には古賀先生の姪ご古賀淑子嬢、山本純一氏の慶子夫人、沢田先生夫人、今、東京、女流作家の川田礼子さんなどがおられ、一流女性群の充実したイボックがつくられたのです。

思い出は次々つきないが、最後に、西南大の発足当時は「学芸学部」と言われ、ギャロット先生が院長、学長、学部長を兼ねられ、図書館の充実にも積極的な意欲を見せ

られた。私は商学科の主任のような任務を負わされていたので、例の五千弗で、何か特色ある書籍を集めるということが一つの課題となり、あたかも、私がPR(公衆関係)HR(人間関係)の文献を調べていたので一昭和24年、大分大での経営学全国大会で、日本で初めてPR、HRについて研究発表をした。それは私です一相談の結果、数十冊のPR、HRの米国原書を最初に購入したのが本学図書館であったのです。

(本学商学部教授)
(学院図書館回顧録その4)

卒業生の図書館利用について

本学卒業生は卒業後も一定の手続きを経て図書館を利用することができます。次の手続きに従って今後大いに利用して頂きたい。

① 次に掲げるものを提出して館長の許可を受けること。

(A) 閲覧のみの場合

(イ) 1回限り(1か月間1回)

特別利用許可願、卒業証明書または本学専任教員の紹介状(以下紹介状という。)

(ロ) 継続利用(1か月間2回以上)

特別利用許可願、卒業証明書または紹介状、写真2葉、利用料金1か月50円(年間500円)

(B) 閲覧および貸出の場合

特別利用許可願、卒業証明書、紹介状または勤務先証明書、写真2葉、利用料金1か月50円(年間500円)

② 館長の許可を受け、利用料金を納入すれば、特別入館証(および特別帯出証)が交付される。

③ 特別帯出の図書冊数は2冊以内、期間は帯出日を含めて15日以内である。

④ その他の諸点については学生利用規則が準用されるから、在学中の手続きと変りない。

編集後記

学院図書館回顧録もその4回を数えよいよ興味深い。前号より連載の辞書・辞典の豆知識も次回は社会科学関係のものをとりあげてみたいと思っている。共にご愛読をお願いしたい。ご寄稿の皆様へ深謝。

(I)